43 明治小学校 〜地域とともにある特色ある学校づくり〜 「いきいき のびる 明治っ子」の具現に向けて

小中一貫教育の実践(教育活動の方向性)

中学校区の目指す子ども像	ふるさと頸城を愛し、思いやりにあふれ、未来をたくましく
	切り拓く子ども
我が校の目指す子ども像	よく考え自ら学ぶ子 進んでかかわる子 元気に生活する子

	小中一貫教育の具体的な取組						
	我が校の取組	中学校区の取組					
実現に向けた重点的な取組内容	・自他の考えのよさや相違を見いだし、 主体的に学ぶ授業づくり ・進んであいさつをし、お互いを認め合い、協力し合う取組 ・めあてをもちながら、粘り強く心とからだの健康をつくる取組	・3部会(学力向上部、豊かな心部、健康づくり部)を柱とした小中学校連絡会(小中一貫教育「頸城プロジェクト」)による実践					
	成果○と課題■	成果○と課題■					
	 ○授業改善の視点を明確にした授業研究と基礎基本の定着 ○明るいあいさつや温かい言葉づかいの習慣化 ○児童会活動や縦割り班活動、学年部合同の授業での人間関係作り ○命や生活を守る知識・技能の習得 ■家庭学習の習慣化 ■課題解決力の向上 ■運動への興味関心とメディアコントロール 	 ○各校の研究授業の参観交流 ○特別支援教育の理解を深める研修会の実施 ○区内教職員対象の合同同和教育現地学習会の実施 ■家庭や地域を巻き込んだメディアコントロール週間の取組 ■個々の学力向上に向けた授業改善の推進とICTを活用した学習活動の充実 					

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組(地域とともにある学校づくり実践)〉

取組の概要	主な活動内容				
生活科では野菜づくりを、総合的な学習の時間では大池周辺の池や森、大蒲生田の里	生活	「レインボーにかがやけ!まちもは たけもぼくたちも!!」(1・2年)			
山、米づくりをテーマとし、地域の自然や 人々の営みに触れる機会を繰り返し設けた。 活動の導入では、体験を重視し、対象への考	総合	「スマイル学年!大蒲生田の里山を 行く」(4年)			
えや思いを広げ、追求過程では、自然事象や 人々の営みについての観察・調査、聞き取り や振り返りの場を多く設けた。教科等との関 連を意識する活動にすることで、体験を通し た実感を伴った知識を得ることができた。	総合	「米こめプロジェクト〜米づくりからの"そうぞう"〜」(5・6年)			
学校運営協議会の評価	夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目				
1・2年生は野菜づくりの楽しさを十分に	す子ども像の実現に有効であった				
味わうことができた。3・4年生は、地域の					
自然の豊かさや大切さを実感できた。5・6		当てはまる			
年生は米づくりを通じ、農業の歴史や未来の		どちらかというと当てはまる			
食についての理解を深めた。学習のねらいは		どちらかというと当てはまらない			
十分達成している。今度も子どもたちの実態に応じたカリキュラム改善を進めてほしい。		当てはまらない			

スクールマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成											
教職員	3 人	、保護者	2人	住 民	5 人	くっその	・の他 1		人	合計	11人
学校運営協議 会の回数 ※()は、		学校単独	1 学期	1回 (0)	2 学期	1回(0)	3学期 1回(0)			合計3回 (0)	
回数内にお 紙面協議回	らける	中学校区合同 ※中学校区で 同数にする	1 学期	1回 (0)	2学期	0回 (0)	3学期			回))	合計1回(0)

活動の内容

- ・5月にカリキュラム検討会を実施し、委員より提供された情報を活かし、生活科や総合的な学習の時間等で、地域の教材・人材を活用した活動を工夫することができた。 第2、3回の協議会では、取組の成果と課題を委員間で共有できた。
- ・花壇実行委員会と連携し、名所花壇「にじいるガーデン」の整備と一人一鉢の活動を 行った。
- ・青少協とも活動計画を共有し、明治地域の 探検やクリーン活動を行った。

成果○と課題■

- ○委員は、学習参観や創立50周年記念式典等の出席をはじめ、花壇整備や青少協の活動において児童とともに活動できた。協議会は、子どもの変容やカリキュラム検討の成果を確かめるための好機となっている。
- ○1~3回の学校運営協議会の検討内容は、 それぞれ意味があり、適正である。
- ■花壇整備作業を授業日に行い、子どもも整備作業に参加することで、花壇を一層大切に思うようになった。参加協力者の確保が 今後の課題である。

総 括

学校運営協議会の提案や評価を教育活動に活かすことができ、活動の充実感と成果を一層感じることができた。学校運営協議会委員が、花壇実行委員や青少協、総合的な学習の時間における支援者など、複数の役職を兼ねていることが当校の強みであり、学習と生活、安全等の多角的な視点から連携が取りやすい。

今後とも、会議や活動の在り方を工夫し、地域や保護者の参画・参加を促しながら、より 教育効果の上がる支援や提案をいただけるよう学校運営協議会の運営を進めていく。

〈活動写真〉



○カリキュラム検討会

5月の学校運営協議会では、 低・中・高学年に分かれ、視覚 的カリキュラム表を基に、1年 間の学習活動を話し合った。多 くの情報やアイデアが提供され、担任の参考資料となった。



○大池わくわく発見たい

3年生は、大池周辺の自然を 学んだ。生物や植物の生態調査 だけでなく、大池でのカヌー体 験や森での秘密基地づくりを 楽しみ、地域の自然の豊かさを 実感することができた。



○にじいろガーデン整備

5・6年生は、植える花苗の 選択や配置を考えたり、下学年 の面倒を見たりするなど、リー ダーシップを発揮できた。縦割 り班での草取り時間を確保し、 花壇整備に関わることで、愛着 がもてるようにした。